

# シーグラフアジア2025で大規模ブース出展

## プラチナスポンサーとして協賛

# 低重力感覚のVRシミュレータ 月面走行と宇宙建設を体験



フォーラムエイトは、展示会場入口に近い絶好の位置にブースを設置した。2台のシミュレータが来場者の関心を集めていた



アジア有数のCGと対話型技術の学会・展示会として知られる「SIGGRAPH Asia 2025 (以下、シーグラフアジア)」(主催:米ACM SIGGRAPH)が、2025年12月15-18日の4日間、香港コンベンション・アンド・エキシビション・センター (HKCEC) で開催された。フォーラムエイトは、シーグラフアジアのプラチナスポンサーとしてシーグラフアジアを支援すると共に、展示会場に大規模なブースを設営した。

# CG統合ソフトやAI応用も

## 感覚フィードバック技術を披露

シーグラフアジアは、千の研究者が集まり研究学会として北米で開催されるシーグラフと同格で、論文審査の基準も変わらぬ。会期中に発表される全論文が紹介される「ファスト・フォロー(早送り)」には、数千の研究者が集まり研究の動向に注目する。一方、展示会は北米とや傾向が異なる。北米のそれは、機器展示が目

のシミュレータを中核に据えた。ともに、大阪・関西万博において「ロボットエクスペリエンス」ア「Shade3D」も温度感覚などが状況に合

に提供された。香港の場合、ブースへの来訪者は、必ずしも英語が堪能とは限らない模様だった。そのような場合は、同社の中国語話者の社員が対応し、丁寧に説明していた。

★ジャパナイト開催  
フォーラムエイトは、HKCEC内で開催された交流会「ジャパナイト」もスポンサーとして支援した。午後6時から開催されたジャパナイトは、画像情報教育振興協会(CG-ARTS)が主催。ここ数年途絶え

ービスの展示が盛んである。また、モーションキャプチャーの機材およびシステムも多く出展される。アジアのコンテンツ制作業界を意識した展示とみられる。★月面を再現  
展示ホールで、機材とソフトウエアの両方を見



月面での重機操縦シミュレータ。こちらも来場者は低重力に苦勞しながらも楽しんでた

# 「ジャパナイト」再開を支援 CGアーティスト交流の場に貢献

ていたが、フォーラムエイトの支援を得て再開された。直前の午後5時半からは同じ会場内でCGアーティストの河口洋一郎氏が主催する「サケ(酒パーティー)」が開かれた。サケパーティーでフランクタルアートを鑑賞した後、ジャパナイトを訪れる流れができていた。2つの日本関係のイベントが連続して催されるとあって、世界の多くのCG関係者が集まった。ジャパナイト会場には、シーグラフアジアの実行委員長である幸村琢教授(香港大学)をはじめとする運営メンバーや、諮問委員会のメンバーなど、シーグラフアジアの中核メンバーが集結していた。フォーラムエイトが支援するイベントのもと、CG界の重要メンバーが集まったことは意義深い。



大阪・関西万博でも展示した月面車操縦シミュレータは人気を博した。来場者は低重力での車両挙動を体験した



画像情報教育振興協会が12月17日に開いた交流会「Japan Night」は、フォーラムエイトの支援で開催にこぎ着けた



フォーラムエイトは、SIGGRAPH Asia 2025のプラチナ(最上位)スポンサーとして、イベントの実施を支援した